

2019年度

経済学部ゼミナールガイドブック

明治学院大学経済学部

2019年度 経済学部
ゼミナールガイドブック

明治学院大学経済学部

目 次

演習を履修しようとする皆さんへ … 2
 2019年度 経済学部演習一次・二次募集選考日程 … 3
 教員によるゼミの紹介 … 4～41

経済学科	募集種別	頁
犬飼佳吾	演習 A1/A2	4
江川雅司	演習 A1/A2	5
大村真樹子	演習 A1/A2	6
小川文昭	演習 A1/A2	7
神山恒雄	演習 A1/A2	8
齋藤弘樹	演習 A1/A2	9
佐々木百合	演習 A1/A2	10
白井誠人	演習 A1/A2	11
鈴木岳	演習 B1/B2	12
宋立水	演習 B1/B2	13
中尾茂夫	演習 A1/A2	14
中野聡子	演習 A1/A2	15
中村友哉	演習 A1/A2	16
西尾敦	演習 A1/A2	17
村田玲音	演習 A1/A2	18
室和伸	演習 A1/A2	19
山内勇	演習 A1/A2	20

経営学科	募集種別	頁
赤松直樹	演習 A1/A2	21
飯田浩司	演習 A1/A2	22
池尾恭一	演習 A1/A2	23
大澤篤	演習 B1/B2	24
佐藤成紀	演習 A1/A2	25
鳥居宏史	演習 A1/A2	26
西村三保子	演習 A1/A2	27
西山由美	演習 B1/B2	28
林祥平	演習 A1/A2	29
森田正隆	演習 B1/B2	30

国際経営学科	募集種別	頁
渥美利弘	演習 A1/A2	31
井川ジェニファー	演習 A1/A2	32
生方雅人	演習 A1/A2	33
神田良	演習 A1/A2	34
小滝秀明	演習 B1/B2	35
タット・リドー	演習 A1/A2	36
西原博之	演習 A1/A2	37
広瀬要輔	演習 A1/A2	38
藤田晶子	演習 A1/A2	39
松園保則	演習 A1/A2	40
山田純平	演習 A1/A2	41

※この冊子は、2018年8月31日までの情報を基に作成しております。
 最新情報はポートへボンにてご確認下さい。

演習を履修する皆さんへ

2018年9月29日

経済学部長 中野 聡子

経済学部では、3年次、4年次でゼミを履修することができます。ゼミとは、少人数の演習（ゼミナール）のことで、大学での勉強の醍醐味がここに 있습니다。大学の先生は、必ず専門分野があり、その分野をずっと研究し続けています。その先生の研究に沿って、特定の分野を学び、仲間と共に切磋琢磨することができるのが、ゼミの場となります。先生や仲間と議論することで、本や講義だけではなかなか得られない学問の本質に近づくことができます。考え方の組み立て、探求方法、調べ方、その分野の研究している他大あるいは世界の研究者には誰がいるのか？ 学会で何が問題になっているのか？ 現代の様々な現実はどう関わりがあるのか？ そして、仲間はそれらにどう反応し、自分はどう考えるのか？ 大学におけるこのような交わりの中から、学問の知識だけでなく、高度な思考法、ひいてはそれらを身につけた人格に至るまで、得難いものを吸収することができます。

ゼミに参加すると、2年次から予備ゼミ、歓迎会、3年次から毎週のゼミの準備、プレゼンテーション、ゼミの勉強会、レポート作成、ゼミ合宿、図書館での検索、卒論のテーマ選び、ゼミ単位のスポーツ大会、卒論の作成、卒論発表会などの活動が続きます。卒業単位の中では、12単位を占めますが、大学生活の中で自分を形成するものとして、それ以上のものが蓄積されます。かけがえのない仲間との出会いもその一つです。

大学で何を学びましたか？と将来問われたとき、それをきっちり答えられるということはとても重要です。そのためにも、自分でよく考えてゼミを選び、その上でゼミに積極的に参加してください。まず、どのゼミを選ぶかというところから、大事なスタートです。周りの人の意見に流されるのではなく、自分で情報を集めて、何をゼミで学びたいかよく考えてください。そのため、この冊子は、ゼミの内容についての情報を提供しています。また、学生によるゼミの説明会、教員によるゼミの説明会に参加することで、ゼミの様子を先輩から聞いたり、担当の先生から直接内容を聞くことができます。

みなさんのゼミ活動が、充実したものになることを願っております。

2019年度 経済学部演習一次・二次募集選考日程

2018年

- 9月13日(木) 1次募集要項発表(ポートヘボン・白横掲示板)
9月21日(金) 申込用紙配布開始(ポートヘボンにて電子データ)
申込用紙はポートヘボンの「ダウンロード」から各自で印刷してください。
9月24日(月) 公開ゼミ開始〔～9月29日(土)までの間に実施〕
9月29日(土) ゼミ説明会 @白金校舎(詳細は後日お知らせします)

【1次募集】

- 10月1日(月) }
 } } 申込受付(白金・横浜教務課窓口)
3日(水) }

※海外留学中の学生は教務課の3・4年次演習募集受付専用メールアドレス宛にメールで応募

メールアドレス: kei3zemi@mguad.meijigakuin.ac.jp

- 8日(月) }
 } } 選考期間
13日(土) }

18日(木) 合格者発表

【2次募集】

- 10月25日(木) 2次募集要項発表(ポートヘボン・白横掲示板)
申込用紙はポートヘボンの「ダウンロード」から各自で印刷してください。

- 11月5日(月) }
 } } 2次募集申込受付(白金・横浜教務課窓口)
7日(水) } ※海外留学中の学生は上記参照

- 12日(月) }
 } } 2次募集選考期間

16日(金) }
28日(水) 合格者発表

[別掲示] ①2019年度3・4年次演習 経済学科生募集教員一覧

[注意] ①逐次、ポートヘボン/教務課掲示板を参照のこと。

②3・4年次演習の履修については、履修要項の「演習と卒業論文」の項を熟読のこと。

* 3次募集については2019年3月中のポートヘボン『お知らせ』・掲示にご注意ください。

犬飼 佳吾 ゼミナール

演習のテーマ 行動経済学、実験経済学、ニューロ・エコノミクス	
Aゼミ／Bゼミの別 A	採用予定人数 ポートヘボン参照
選考方法 面接	採用条件 経済学に関する実験研究（行動経済学、実験経済学、心理学、認知科学、神経心理学等を含む）について関心があり、好奇心や熱意をもっていること。
留学先からの応募可否 可	留学中の履修（遠隔指導）可否 可
演習の内容 <p>このゼミでは、実験という手法によって、私たちの意思決定や行動原理、経済の仕組みを理解することを目的としています。ゼミの学生は、実験研究に関する背景知識の学習を進めたうえで、教員と相談しながら実験研究のプロジェクトを進めます。研究を進めていくなかで、経済学の考え方や理論を学ぶだけではなく、実際の私たち自身の行動の仕組みについて理解し、より良い意思決定や社会の仕組みを考えていきたいと思えます。</p> <p>ゼミで扱う研究範囲は多岐にわたります。たとえば、私たちの意思決定のクセや特徴を調べたり（行動経済学）、経済や社会の仕組みを実験によって検討したり（実験経済学）、経済学的な意思決定や判断をしているときに脳や体の中でどんなことが起こっているかを研究（ニューロ・エコノミクス）します。これらの課題について教員やゼミ生と議論しながら、卒業論文にむけて研究を進めていきます。</p> <p>生物として「ヒト」と経済学や社会科学が対象とする「人」との間をつなぐ研究に興味をもち、熱意や好奇心のある方を募集します。</p>	
公開ゼミ なし	現在のオフィスアワー 木曜3限 個人研究室（ヘボン館9階903） 自由に訪問可（メール予約が望ましい）

江川 雅司 ゼミナール

演習のテーマ 国と地方政府（都道府県と市町村）の財政に係る研究	
Aゼミ／Bゼミの別 Aゼミ	採用予定人数 ポートヘボン参照
選考方法 面接	採用条件 明朗、誠実、努力型の人を望みます。
留学先からの応募可否 不可	留学中の履修（遠隔指導）可否 不可
演習の内容 具体的テーマ：「国の財政分析」、「課税ベースの研究」、「所得税制度や消費税制度の研究」、「年金・医療制度の研究」、「財政再建策の研究」、「地方政府の財政分析」など。 いつの時代でも、国並びに地方公共団体（都道府県と市町村）における行財政問題が話題になりますが、この問題（具体例として、財政赤字と財政再建問題、消費税・地方消費税制度並びに税率に関わる問題、所得税・法人税の増減税問題、新税導入及び公債発行等による財源調達問題、社会保障財源確保問題、年金問題、歳出額削減問題、国から地方政府への税源移譲・補助金制度問題、及び地方分権化問題等をあげることができます）は、国のみならず地方公共団体にとって、「公平」、「効率（中立）」、並びに「財源確保」の行財政運営基準から照らして発生するものであり、決して無視することのできない重要な問題です。さらに、国際化に伴って、国家間の税制度や税率の相違から発生する国際課税のあり方も問題となっています。 したがって、本演習では、ゼミ生諸君に、国と地方公共団体が抱えているさまざまな問題のうち、関心のもてる問題の一つ採り上げてもらい、その問題の財政分析をし、卒業論文としてまとめることのできるように指導します。その際、言うまでもなく分析する道具（制度、理論など）の力を養うことに心がけて指導します。 また、ゼミ生諸君が、研究ばかりでなく将来の進路を決定できるような就職活動対策、コミュニケーション能力の育成にも努め、演習の一環として指導することに努めます。	
公開ゼミ なし	現在のオフィスアワー 月曜12：45～13：15個人研究室（ヘボン館9階905） 予約制（メール）

大村 真樹子 ゼミナール

演習のテーマ 開発経済学	
Aゼミ／Bゼミの別 A	採用予定人数 ポートヘボン参照
選考方法 面接・応募書類	採用条件 発展途上国の問題に興味があり、経済学的分析を行い、積極的にゼミ活動に参加する意欲があること。また、機器の準備も含め、発表準備をお互い助け合うなど、協調性をもって、自発的に動くことは必須です。なお、テキストは英語で書かれているため、英語文献にも積極的に取り組んで行くことも期待されます。
留学先からの応募可否 可	留学中の履修（遠隔指導）可否 可
演習の内容 <p>世界には経済成長を遂げた富裕な国々（先進国）と、未だ深刻な貧困を抱える国々（発展途上国）が混在しています。また同一国内においても、都市部・農村部でその経済発展度合いが大きく異なります。</p> <p>何故いつまでも貧困から抜け出せない人々・国々があるのか？先進国と途上国では経済構造がどのように違うのか？貧しい人々はどのような状況で生計を営んでいるのか？そうした人々はどのようにして貧困を克服しようとしているのか？</p> <p>上記の疑問を考察する切り口は無数にありますが、本ゼミナールでは、開発経済学の主な理論を学習し、こうした疑問に対する分析枠組み・方法を学んでいきます。発展途上国の現状を見ると、通常の経済理論で仮定されている様々な前提が成り立たない場合が多くありますが、現状に見合うような制約を取り入れ、経済学の枠組みで分析することで、その問題の本質と解決策を見出すことが可能となります。</p> <p>3年次では、ゼミ生はテキストを輪番で発表し、討論に積極的に参加することが求められます。本ゼミナールの目的は、発展途上国の開発問題を考察し、経済学的に分析する手法及び、分析したものを的確に表現する—論文を書く・発表をする—力を身につけることにあります。こうした能力は将来、どのような分野に進もうとも有用な資産となるでしょう。また、様々な途上国の状況を学ぶことで、多様な経済社会事情に対する造詣を深め、視野を広げることが期待されます。</p>	
公開ゼミ ポートヘボン参照	現在のオフィスアワー 火曜12：45～13：15個人研究室（ヘボン館9階918） 自由に訪問可（メール予約が望ましい）

小川 文昭 ゼミナール

演習のテーマ 社会科学とはなにか（滝村隆一を読む）	
Aゼミ／Bゼミの別 Aゼミ	採用予定人数 ポートヘボン参照
選考方法 面接	採用条件 理論書を読破しようという意欲のあることと、レポート（論文）のテーマを自力で探す意志を持っていること。
留学先からの応募可否 可	留学中の履修（遠隔指導）可否 不可
演習の内容 滝村隆一著『国家論大綱第一卷（上）』（勁草書房、9180円）の輪読をゼミの主な柱とする。ゼミ生は毎回同書を読んで事前にレジюме（要約）を提出してゼミに出席し、当該部分の内容について疑問点を出しあって同書についての理解を深める。それによって「社会科学」のイメージを豊かにすることを目指す。 ほかにゼミの中で各自の作成するレポートについての質疑をする時間を設ける。 春秋それぞれ1回のレポート（小論文）の作成を各学期の最終課題とする。	
公開ゼミ なし	現在のオフィスアワー 金曜12：45～13：15個人研究室（ヘボン館9階911） 自由に訪問可

神山 恒雄 ゼミナール

演習のテーマ 近代日本経済史（幕末開港～第二次世界大戦）	
Aゼミ／Bゼミの別 A	採用予定人数 ポートヘボン参照
選考方法 面接	採用条件 毎回出席することはもちろん、積極的に予習すること。 合宿などゼミの行事に積極的に参加・協力すること。
留学先からの応募可否 不可	留学中の履修（遠隔指導）可否 不可
演習の内容 <p>近代の日本経済（幕末開港～第二次世界大戦）について検討します。</p> <p>近代日本経済史を学ぶ意義は、現代とは本質的に異なる側面を持つ近代日本経済の実態を解明することで、現代日本経済を相対化してその特徴を理解することにあります。</p> <p>そこで3年次では、まず基礎的な知識を習得するために、近代日本経済史の展開を大筋で把握できる概説書を講読します。その上で、特定の分野や時期を対象とする最近の研究書・論文（たとえば明治期の鉄道史）を講読することで、日本の資本主義化が可能になった条件を考察します。</p> <p>4年次では卒論を作成します。テーマは近代日本経済史に関するものについて、参加者各自の関心に基づいて決めます。その上で、先行研究や利用可能な史料を収集・読破して卒論の執筆を進めるのですが、演習では進捗状況に応じて中間報告と個別相談を行います。卒論執筆には一定の準備期間が必要ですので、どのようなテーマで卒論を書きたいか、早くから考えておくことが重要です。</p> <p>なお演習は毎回担当者を決めて発表形式で行いますが、発表担当者以外の参加者も討論に積極的に参加するために予習が不可欠です。</p> <p>演習に関する質問はE-mailを利用してください。面談の必要があれば日時を相談します。（アドレスは kamiyama@eco.meijigakuin.ac.jp）</p>	
公開ゼミ なし	現在のオフィスアワー 金曜12：45～13：15個人研究室（ヘボン館9階909） 予約制（メール）

齋藤 弘樹 ゼミナール

演習のテーマ ゲーム理論とその応用	
Aゼミ／Bゼミの別 Aゼミ	採用予定人数 ポートヘボン参照
選考方法 面接、書類、成績で総合的に判断する	採用条件 <ul style="list-style-type: none"> ・ゲーム理論1を履修済み、ゲーム理論2を履修中であること。 ・積極性がある学生をすすんで受け入れる。 ・ゼミの諸活動に優先的に取り組めること。 ・2年間在籍して卒業論文を完成させることが目標のゼミであるので、4年次にゼミ（卒業研究）を疎かにせず、個人の活動（就活や資格勉強等）と両立できることが求められる。
留学先からの応募可否 不可	留学中の履修（遠隔指導）可否 不可
演習の内容 <p>ゲーム理論とその関連分野を中心に学びます。3年次では、グループごとにトピックを選択し、自由な形式で報告・討論をします。参考までに、今年度は、行動経済学、マーケットデザイン（マッチング理論）について学んでいます。4年次では、個別のテーマに基づいて研究報告を行い、ゼミ生・教員との議論を通じて卒業論文の作成を目指します。ゼミ生は、一人一人が何らかの役割を持ち、能動的に参加することが求められます。</p>	
公開ゼミ ポートヘボン参照	現在のオフィスアワー 火曜4限 個人研究室（ヘボン館9階901） 予約制（メール）

佐々木 百合 ゼミナール

演習のテーマ 金融論、国際金融論	
Aゼミ	採用予定人数 ポートヘボン参照
選考方法 面談・レポート・成績・当日アンケート	採用条件 成績は2年春学期終了時点で50単位以上取得していることが望ましい。金融や国際金融の知識を身につけたいという意欲があること。ゼミ時間以外も日銀見学やディベートの準備、合宿などの課外活動に参加できること。
留学先からの応募可否 不可	留学中の履修（遠隔指導）可否 不可
演習の内容 佐々木ゼミでは、国際金融、金融に関連するトピックスを取り上げて研究する。具体的には、まず広く浅く金融・国際金融の知識をつける。その後、テキストを輪読して研究上必要な基礎的な内容について学習する。次に、トピックを決めてそれについてグループで研究をすすめ、ゼミ内や他大学とディベートをすることで理解を深める。最後にゼミ内で研究発表を行う。また、月に数回コンピュータを利用して、テーマに関連したデータを集めて統計的に分析したり、研究成果をプレゼンテーションしたりする。その他、ゼミでは合宿・コンパなどの課外活動も行う。 参考として、ゼミで扱うトピックや、卒論に取り上げる題材は、例えば「日本の金融政策の検証」「為替相場の貿易収支への影響」「フィンテックの影響と今後の展望」などである。 ゼミは学生中心に進めるので、しっかり学びたいという気持ちを持ち、積極性のある学生を希望する。	
公開ゼミ ポートヘボン参照	現在のオフィスアワー 木曜12:30~13:00個人研究室（ヘボン館9階914） 予約制（メール）

白井 誠人 ゼミナール

演習のテーマ 日本経済論（特に就職先企業の経済分析）	
Aゼミ／Bゼミの別 Aゼミ	採用予定人数 ポートヘボン参照
選考方法 (1) 試験（ミクロ・マクロ経済学と論文） (2) 面接	採用条件 演習内容についてゼミの時間に試験を実施し、予習・復習も要請します。誠実で、意欲、熱意がある、自分の卒業進路や将来のために大学時代に真剣に自己投資・努力する気概のある学生を希望します。
留学先からの応募可否 不可	留学中の履修（遠隔指導）可否 不可
演習の内容 ゼミ生の就職活動や卒業後のビジネス能力を考慮し、以下の内容を予定しています。 3年生： 近年の産業・企業研究の成果を踏まえ、問題解決力や意思決定の基本知識を習得し、実際の企業経営者が求める人材と能力について考察します。就職面接時に「大学時代に何を学んだのか」「将来への自己投資として何をしたのか」を明確に説明できるように鍛錬します。応用課題として、就職やビジネス能力についてのディスカッションテーマを少人数チームで議論し、各チームの結論を個別に発表した後、全員で検討するグループディスカッションを行います。 同時に就職希望業種・企業の歴史、現状や展望、課題等の情報収集および分析作業も進め、経済指標や各種資料を用いた業界分析の発表、相互の志望業界の情報交換および議論を予定しています。 4年生： 自分の就職先企業・産業や仕事内容をより深く考察するために、3年次で養った基礎知識を下地にして産業・企業研究についての代表的文献を要約してもらい、分析視点や手法の土台を構築します。その土台を立脚点として、卒業後、実際に就業して所得を得ることになるビジネスの収益メカニズムや企業組織の構造、業界での位置付け等を考察、将来の予測分析を試みます。	
公開ゼミ ポートヘボン参照	現在のオフィスパワー 月曜5限 ヘボン館1階教員ラウンジ 予約制（メール）

鈴木 岳 ゼミナール

演習のテーマ 政治哲学	
Aゼミ／Bゼミの別 Bゼミ	採用予定人数 ポートヘボン参照
選考方法 面接	採用条件 特になし。日本や世界の政治状況、経済問題、などにある程度の関心を持っていればよい。
留学先からの応募可否 不可	留学中の履修（遠隔指導）可否 不可
演習の内容 M. サンドル著「これからの正義の話をしよう」（早川書房）の輪読を通じて、政治哲学の問題を議論する。ゼミの最初の時間に、各自の担当箇所・順番を決める。後はそれに従って担当者が自身の責任箇所を説明し、他のゼミ生は質問や意見を述べ、また関連する様々な（哲学的・現実的）問題について議論することになるだろう。自分の発表の番でない週でも、なるべくテキストを自身で読んでおいて、積極的にゼミでの討論に参加することが望ましい。	
公開ゼミ なし	現在のオフィスアワー 火曜2限 個人研究室（本館8階851） 自由に訪問可

宋 立水 ゼミナール

演習のテーマ 開発経済学の理論・政策及び東アジア地域の経済に関する研究	
Aゼミ／Bゼミの別 Bゼミ	採用予定人数 ポートヘボン参照
選考方法	採用条件 アジア経済、開発経済学に興味を持ち、勉学意欲があり、ゼミの要求通りに、教科書と副教材、参考書などの読書とゼミ時間外のグループ学習を積極的に取り組むこと。ゼミ合宿の代わりにFSCを履修・参加すること
留学先からの応募可否	認定留学計画中の学生受け入れ可否
演習の内容 経済発展は世界各国の共通課題である。本ゼミでは、特に東アジア地域の経済発展の問題を取り上げ、経済的・技術的・社会（文化）的・政治（制度）的な状況について、そして地域の経済発展のための諸条件及びその開発政策について、文献による考察を行い、また統計データに基づいて、研究分析を行う。 三年次ゼミでは、主にかかる経済発展理論と開発経済理論、実証方法を学習する。四年次ゼミでは、学生が勉強した理論と実証方法によって、自由に設定した研究テーマの卒論の資料準備と論文作成を行う。ゼミ学習の形式は、学生諸君を主体とする <u>個人予習</u> — <u>グループ学習</u> — <u>グループ発表</u> — <u>全体討論</u> という形式となる。 経済発展、特に東アジアのような遅れた国・地域の経済発展（開発）問題を考察するには、理論と政策（理論の応用）知識が必要なので、総合的な経済学理論への理解、そして、分析方法としての社会経済統計学の基礎知識の習得が望ましい。経済発展は、経済成長の諸問題だけでなく、社会、政治、文化、技術、歴史、環境等の諸側面の問題にもかかわっていることで、演習を通して、学際横断した総合的学習力と思考力の養成を目指したい。 ゼミ学習効果を高めるには、読書と思考と討論は欠かせない三要件であり、特にゼミでの討論がなければ、ゼミとして成り立たないと言い切ることができる。したがって、積極的に自分の見解・考えを発表し、討論に参加する意欲のある学生を歓迎します。	
公開ゼミ（日時、場所） なし	現在のオフィスアワー 木曜3限 個人研究室（本館8階873） 予約制（メール）

中尾 茂夫 ゼミナール

演習のテーマ 情報（金融市場&労働市場）の識別力	
Aゼミ／Bゼミの別 Aゼミ	採用予定人数 ポートヘボン参照
選考方法 志望動機書・成績・面接	採用条件 メールアドレス（nakao@eco.meijigakuin.ac.jp）宛てに志望動機書を10月5日までに提出してください（約1500字）。後、面接点と成績点を合算します（志望動機書40点、面接30点、成績30点）。個別の質問については、メールで受け付けます。ただし、必ず、学年、氏名、学籍番号を記してください。
留学先からの応募可否 可	留学中の履修（遠隔指導）可否 不可
演習の内容 一昔前とは大変貌を遂げつつある金融市場と労働市場に関する最近の論説を読み合わせながら、議論します（著作はこちらで指定）。流動化する経済状況のなか、金融市場（メガバンクや地銀や証券会社から、資本市場や先物市場までを含む）と労働市場を中心に、その変貌の実際をフォローします。まずは、今までのゼミの履歴を教え、これまでのゼミ生の実績を、情報として共有してください。中尾ゼミで「情報通」になって、逞しく、社会に出て行ってほしいというのが、教育目標です。 そのためには、経済社会で流布する情報を知ることです。内容によっては、テキストの書籍以外に、「日本版ニューズウィーク」「週刊東洋経済」等のビジネス誌の購入を指示します。連絡は、すべてメールです。唯一の約束として、無断欠席は除籍とします。書籍や雑誌の購入費として年間1万円程度の支出は覚悟して下さい。わたしの研究実績については、ネットの検索エンジンで、お調べください。概要が分かります。 「勉強を通じて情報通になる」、という目標に対して、「そうだ！」と考える、やる気のある学生を求めます。偏差値至上主義者、大学はレジャーランド、あるいは大学はアルバイトの暇なときだけで十分、と考える学生はお断りします。学生にとっては、たかが週1回のゼミだと思いかもしれませんが、卒業後までを考えれば、意外に重要なものです。したがって、熟考して決めることを勧めます。わたしも、真剣に選抜します。この演習内容の説明に共感を覚えた学生の積極的応募を期待します。	
公開ゼミ なし	現在のオフィスアワー

中野 聡子 ゼミナール

演習のテーマ 経済学史・経済思想史	
Aゼミ／Bゼミの別 Aゼミ	採用予定人数 ポートヘボン参照
選考方法 面接	採用条件 経済学の基本的な考え方を習得していること。 経済学や経済思想の歴史を学ぶ意欲があること。 英語の文献にも取り組む姿勢を持っていること。 ゼミで積極的に発言し、ゼミの運営に。参加すること
留学先からの応募可否 不可	留学中の履修（遠隔指導）可否 不可
演習の内容 この演習は、経済学史・経済思想史をベースにしながら、現代に到るまでの経済学の基本的な考え方を習得することをねらいとしています。つまり、経済理論や思想が、どのような時代や場所で、どのような文脈で出てきたかを参照しながら、現代の経済学の理解を深めようとしています。さらに、現代の経済学の問題点や可能性を探るために、様々な学説の限界と意義を検討します。したがって、経済学に今ひとつ理解できない部分がある、あるいは、もう少しその意味を深く考えたいというような問題意識のある学生の参加を想定している。 例えば、A. スミスは、経済自由主義をどのような思想で捉えていたか？経済学という学問はどのような経緯で誕生したのか？ J. M. ケインズの経済政策は、どのような思想に裏付けられて登場したのか？ F. ナイトは、不確実性をどのように捉えたか？企業の役割や機能を、経済学ではどのように捉えてきたか？経済学の実証的な方法は、どのようにして現れてきたか？など、ミクロ経済学やマクロ経済学の背景にある経済学の考え方を総合的に見ていきます。 2019年度は、春学期中に経済学の歴史を概観し、夏休みから秋学期にかけて、特定のテーマを研究します。特に、アダム・スミスの経済自由主義の思想を検討し、経済学の成立期の株式会社制度、分業組織、特許や著作権に関わる市場制度についての理論史、思想史を扱います。	
公開ゼミ なし	現在のオフィスアワー 木曜5限 個人研究室（本館8階854） 予約制（メール）

中村 友哉 ゼミナール

演習のテーマ 合理的な行動と非合理的な行動の分析（情報の経済学と行動経済学）	
Aゼミ／Bゼミの別 Aゼミ	採用予定人数 ポートヘボン参照
選考方法 面接と成績	採用条件 面接と成績を総合的に評価して判断する。成績は特に重視するが、それだけで判断することはない。
留学先からの応募可否 不可	留学中の履修（遠隔指導）可否 不可
演習の内容 このゼミでは、人間の「合理的な行動」と「非合理的な行動」を学び、経済学の知識を日常生活で使いこなすトレーニングを行います。 「合理的な行動」は担当教員が開講する「情報の経済学1、2」で学習します。情報の経済学はゲーム理論を発展させた分野です。合理的な人間を想定して、不確かな情報のもとでの「かけひき」を分析します。情報の経済学の学習によって「かけひきを合理的に分析する力」を身に付けます。ゼミは「情報の経済学1、2」の内容を前提に進めます。 「非合理的な行動」は、ゼミの時間に行動経済学のテキストを輪読して学びます。行動経済学は、心理学の知見を取り入れて、非合理的な人間の判断ミス进行分析する分野です。特に、偶然のミスではなく、パターンがある判断ミス（バイアスという）を分析します。行動経済学を学ぶことで、「非合理的な行動と付き合う方法」を身に付けます。 また、ゼミではチームでの発表だけでなく、ビブリオバトル（本を紹介し合うゲーム）など、プレゼンの機会を作ります。プレゼンを通じて、相手に自分の考え方や意見をわかりやすく「伝える力」を身に付けます。 教員と現在の所属学生、そして、新しく加わる学生がお互いに協力して、ゼミを作っていきたいと考えています。人それぞれに得手不得手はあると思いますが、自分なりに貢献できることを見つけて、ゼミ活動に協力的に取り組んでいける人を歓迎します。	
公開ゼミ ポートヘボン参照	現在のオフィスアワー 木曜3限 個人研究室（ヘボン館8階812） 予約制（メール）

西尾 敦 ゼミナール

演習のテーマ データ解析の理論と実践	
Aゼミ／Bゼミの別 A	採用予定人数 ポートヘボン参照
選考方法 面接	採用条件 経済統計学、入門計量経済学、統計学（明共科目）のうち、1つ以上修得していることが望ましい。
留学先からの応募可否 可	留学中の履修（遠隔指導）可否 可
演習の内容 3年次：全員でテキスト（未定）を講読し、並行して、「R」による分析の練習をする。 4年次：原則として個別にテーマを設定し、データを収集し分析を行い、結果を卒業論文にまとめる。テーマは自由。過去の例を挙げると <ul style="list-style-type: none"> ● 消費者物価指数の時系列分析によって、消費税導入（税率変更）が物価に及ぼす影響を、品目毎に推計し、これを基に流通構造などを考察した。 ● 1920に始まる国勢調査その他の長期統計や現在の生命表などを用い、出生年によるコホート分析を行い、生年（世代）毎の日本人男女の平均寿命（たとえば1920年生まれの男性の平均寿命は約54年であることなど）を推計した ● Jリーグ公式戦の全データから、ポアソン回帰分析とよばれる方法を用いて、各チームの得点力、守備力を同時に推計した。（スポーツに関しては、データがネット上にも豊富で集めやすく、また面白いのでこしばらく、毎年誰かがテーマとして取り上げている） 	
公開ゼミ なし	現在のオフィスアワー 金曜6限 経済学部共同研究室（横浜） 自由に訪問可

村田 玲音 ゼミナール

演習のテーマ 現代暗号の仕組みと、経済活動への応用	
Aゼミ／Bゼミの別 Aゼミ	採用予定人数 ポートヘボン参照
選考方法 面接	採用条件 数学的なものの考え方の好きな人を歓迎します。高校までの数学を使うわけではありませんが、これまでと少し違ったタイプの数学を使います。暗号という新しいものを真剣に学ぼうとする意欲のあることが、大切な条件です。
留学先からの応募可否 不可	留学中の履修（遠隔指導）可否 不可
演習の内容 暗号は、「大切な情報を、自分が伝えたい人だけに伝える」技術です。戦争などの場面で、味方とだけ情報をやりとりするために考え出され、使われてきました。この暗号が現代社会では必須の技術になっています。 インターネットで外国から買い物をすれば、クレジットカードの番号を送って代金を払わなくてはなりません。クレジットカードの番号は大切な秘密情報ですから、取引先には正確に届かなくてはなりません。それ以外の人に知られては困ります。ここで暗号の出番になります。クレジットカードの番号に暗号をかけて送ればよいのです。でも、これまで一度もメールのやりとりをしたことのない相手と、どうやって暗号通信をするのでしょうか？ 近年、インターネットの発展などにより、経済活動が大きく変化しました。これに伴って暗号の必要性や利用価値が飛躍的に大きくなっています。スイカや電子マネーを陰で支えているのは暗号技術です。また、個人情報の保護や本人確認の手段（認証技術）など、暗号技術が利用される場面はどんどん広がっています。電子カルテ、電子投票といった言葉を耳にした人も多いでしょう。 このゼミでは、 1 現在使われている二種類の暗号——秘密鍵暗号と公開鍵暗号——の仕組みを勉強し 2 暗号が実際に経済活動の中でどのように使われているかを調べ 3 そうした中から特定の技術を選んで卒論にまとめます。	
教科書 『明るい暗号のはなし——ネットワーク時代のセキュリティ技術』 今井秀樹（裳華房）	
公開ゼミ なし	現在のオフィスアワー

室 和伸 ゼミナール

演習のテーマ マクロ経済学 経済成長	
Aゼミ／Bゼミの別 Aゼミ	採用予定人数 ポートヘボン参照
選考方法 面接、成績	採用条件 マクロ経済学を深く学びたい人 経済成長に興味を持ち勉強熱心な人 アメリカ経済史に興味・関心がある人 ゼミの活動に積極的に取り組む人
留学先からの応募可否 不可	留学中の履修（遠隔指導）可否 不可
演習の内容 マクロ経済学は、国内総生産（GDP）、物価、失業率の動向を把握し、一国経済全体を定性的・定量的に分析する。経済の仕組みや法則性がわかれば、経済予測や資産運用などにおいて、私達が生活していく上で必ず役に立つ。さらに、資本主義経済を深く理解することにつながる。 このゼミでは、長期的な視野を持って、国が豊かになるにはどうすればよいか、経済成長のメカニズムは何か、教育投資・研究開発投資・公共投資の効果について考察する。マクロ経済学の重要分野である経済成長について考察し、経済発展の謎を解き明かそう。豊かな暮らしをしている国と、貧しいままの生活をしている国があるのはなぜか。長い歴史を振り返ると、経済成長とは1880年頃から1973年までの約100年間で起こった特別な現象だったのだろうか。それとも今後も持続的な成長が可能なのだろうか。 2019年度のゼミでは、経済成長に関する文献、 ロバート・J・ゴードン著、高遠裕子・山岡由美翻訳『アメリカ経済 成長の終焉（上）（下）』（日経BP社）[2018年7月出版]を輪読する。 あらかじめ該当箇所を割り当てておき、学生がプレゼンテーションをする。課外活動やゼミ合宿にも積極的に参加すること。ゼミはともに学び合いの場であり、教育を通じた人間形成の場としたい。	
公開ゼミ なし	現在のオフィスアワー 木曜5限 個人研究室（本館8階857） 予約制（メール）

山内 勇 ゼミナール

演習のテーマ イノベーションの経済学	
Aゼミ／Bゼミの別 Aゼミ	採用予定人数 ポートヘボン参照
選考方法 書類審査、面接	採用条件 <ul style="list-style-type: none"> ・イノベーションに関心があること ・ゼミの活動に真剣に、積極的に取り組めること
留学先からの応募可否 可	留学中の履修（遠隔指導）可否 不可
演習の内容 <p>このゼミでは「イノベーションの経済学」について学習します。イノベーションとは、新しいアイデアを生み出し、それを社会的な価値に結びつけることです。良いアイデアがあっても、それが社会で利用されなければ意味がありません。企業にとっても同様に、優れた技術やビジネスモデルを持っていても、それを生かした製品・サービスが消費者に受け入れられなければイノベーションとは呼べません。ゼミでは、こうしたイノベーションに関する企業の戦略や政府の政策を経済学的に分析していきます。</p> <p>特に、イノベーションのプロセスを疑似体験することで理解を深め、分析に活かすことに重点を置いています。そのため、グループごとに実際に簡単な商品の開発を行っていただきます。そのうえで、自分の考えた商品を普及させるための方法を検討していただきます。具体的には、誰に何をいくらでどう売るか、自分の製品の強みや弱みは何かといった観点から製品開発を行い、データを集めて市場構造の分析や需要予測などを行います。その過程で、コンテストへの応募、企業への事業化の提案、権利化なども可能な限り行っていきます。</p> <p>ゼミは2年次の採用決定後から開始します。2年次から3年次の春学期にかけて、製品開発と並行して、教科書や先行研究から基本的な概念・分析手法を学びます。3年次の秋学期は、開発した製品に関係する市場や企業の戦略について、経済学的な分析を行うことが中心となります。4年次は、3年次に行った分析を学術的に発展させ、卒業論文の作成に励みます。</p> <p>なお、与えられた課題をやり通す力だけでなく、他者と協力して一つの仕事を遂行する能力を高めていくことも、このゼミの目的です。そのためには、他のゼミ生とのコミュニケーションも重要です。したがって、グループワークや研究報告などに真摯に取り組むことはもちろんのこと、他のゼミ生と交流を図り「大変だけど楽しいゼミ」を作っていくことができる学生を歓迎します。</p>	
公開ゼミ ポートヘボン参照	現在のオフィスアワー 火曜2限 個人研究室（ヘボン館8階811） 自由に訪問可（メール予約が望ましい）

赤松 直樹 ゼミナール

演習のテーマ 消費者行動とマーケティング	
Aゼミ／Bゼミの別 A	採用予定人数 ポートヘボン参照
選考方法	採用条件 協調性を持ち、積極的にゼミ活動に参加できること。消費者行動研究やマーケティング研究に興味を持っていること。
留学先からの応募可否	留学中の履修（遠隔指導）可否
演習の内容 このゼミナールでは、「消費者の視点に立ちマーケティングについて分析すること」を基本的なスタンスとしています。研究論文や学術書の読み込みはベースとして必須ですが、例えば、仮説構築や仮説検証のために利用するデータの種類は問いません（定量・定性など）。 基本的には、グループワークが中心です。3年次には「関東学生マーケティング大会」に参加します。他大学のマーケティングを学ぶゼミが参加する大会で、マーケティング研究を通じて刺激的な経験ができると思います。本大会に興味のある方は是非インターネットで検索してみてください。 本大会にゼミ全体で真剣に取り組みますので、ある程度の時間と議論を要します。そのため、ゼミナールの時間外でもグループワーク等を自主的に行うことが求められます。 ゼミナールを通じて勉強・研究に打ち込むことで、物事の考え方・議論の仕方などを少しでも深めていきたい、長期にわたって付き合っていける友達を作りたい等、大学生活をより一層充実させたいと考えている学生をお待ちしています。	
公開ゼミ ポートヘボン参照	現在のオフィスアワー 随時 メールで調整 個人研究室（ヘボン館6階612）予約制（メール）

飯田 浩司 ゼミナール

演習のテーマ コンテンツビジネスと法	
Aゼミ／Bゼミの別 Aゼミ	採用予定人数 ポートヘボン参照
選考方法 面接及び書類 持参物：もし自己アピールできるものがあれば 持参してください	採用条件 1. 積極的に予習、復習し、授業で発言すること 2. ゼミ活動（授業、合宿、見学等）に原則として全て参加すること 3. 著作権等の法律の勉強を積極的に行うこと
留学先からの応募可否 不可	認定留学計画中の学生受け入れ可否 不可
演習の内容 このゼミでは、いわゆる「コンテンツビジネス」に関して、ビジネス面と法律面での問題点を検討します。一口にコンテンツビジネスと言っても、出版産業、音楽産業、映画産業、アニメ産業、ゲーム産業、演劇産業、放送業、インターネット産業、コンピュータソフト産業など多岐にわたっていますが、このゼミではとりわけ、音楽産業などのエンタテインメントに関連するビジネスを中心に上げたいと思います。ビジネス面に関しては、それぞれの産業が抱える今日的課題や将来像が中心となり、また、法律面に関しては、著作権法が中心になるかと思いますが、その他コンテンツビジネスに関する法（例として、特許法、契約法、独占禁止法等）についても取り上げることができればと考えています。 3年次春学期は、コンテンツビジネスを理解する上で不可欠な著作権に関する知識を習得します。秋学期は、コンテンツビジネスの各業界の概要や直面する問題等について、グループまたは個人で予習の上、発表してもらおうことを考えています。4年次は各自テーマを設定して卒業論文を作成します。 コンテンツビジネスを対象とするゼミなので、実際のコンテンツビジネスの現場（レコーディングスタジオ等）を見学したり、コンテンツビジネスの現場で働く人の話を聞いたりするなどの機会を設けていきたいと考えています。また、ゼミ合宿や懇親行事も実施する予定です。	
公開ゼミ（日時、場所） ポートヘボン参照	現在のオフィスパワー 木曜2限 個人研究室（ヘボン館9階906） 予約制（メール）

池尾 恭一 ゼミナール

演習のテーマ 消費者行動とマーケティング戦略	
Aゼミ／Bゼミの別 Aゼミ	採用予定人数 ポートヘボン参照
選考方法 面接	採用条件 マーケティングに対する積極的な関心と意欲、そして新しい社会に向けての旺盛な好奇心をもつことが望まれます。
留学先からの応募可否 不可	留学中の履修（遠隔指導）可否 不可
演習の内容 今日、わが国企業を取り巻く環境は、世界経済における日本経済の立ち位置の変化、消費者行動の変化、従来型競争力の行き詰まり、情報通信技術の発展やグローバル化の進展など、多くの面で、大きく変化しています。そのなかで、どのような製品を販売するか、価格をいくりにするか、どのような広告を行うかなどを内容とするマーケティング戦略は、大きな転機を迎えています。本ゼミナールにおいて取り扱うテーマには、メーカーやサービス業のこうしたマーケティング戦略の検討、あるいはその基礎となる消費者の行動や顧客の行動の理解、さらには小売業態や電子商取引といった流通問題の分析などが含まれます。具体的には、現在わが国で起こりつつある環境変化を踏まえながら、個々の製品・サービス分野における顧客の行動や競争業者の行動を理解し、マーケティング戦略やそれを支える仕組みを検討していく予定です。	
公開ゼミ ポートヘボン参照	現在のオフィスアワー 随時 メールで調整 個人研究室（ヘボン館8階818）予約制（メール）

大澤 篤 ゼミナール

演習のテーマ 企業成長の歴史	
Aゼミ／Bゼミの別 Bゼミ	採用予定人数 ポートヘボン参照
選考方法 面接のみ	採用条件 特になし（成績不問） ただし論文作成のモチベーションを1年間維持することは約束してもらいます。
留学先からの応募可否 可（skypeによる面接）	留学中の履修（遠隔指導）可否 不可
演習の内容 本演習では、参加者の“自由意思”によって特定企業を選択してもらい、その企業に関する研究論文（16000～20000字程度）を1年かけて作成してもらいます。その狙いは、参加者が「大学では○○を勉強しました」と、就職活動に際して自信をもってアピールできるようになることにあります。 春学期は、必要とされる基本的スキルを習ったうえで、各自が分析対象となる企業を選び、具体的な研究テーマを決め、6月以降は個人研究の進捗状況を2度報告してもらいます。そして8月初旬に進捗状況確認として、8000字以上の文章を提出してもらいます。秋学期は3～4週間に1回程度のペースで同様の進捗報告を行い、年明けには論文を仕上げてもらいます。 また各自の研究報告に対しは、参加者による質疑応答・討論も行います。加えて、学術論文（経営史・経済史）の輪読、インゼミ（9月）、工場見学（1月）も実施します。 なお無断欠席・特段の理由なき遅刻が半期3回以上あった場合、その時点で単位取得は困難となります。そのほか、他者に対する非礼、ゼミの進行に支障をきたす行為（報告担当時の欠席・遅刻など）が散見された場合は、以後の出席を禁止することがあるので注意してください。	
公開ゼミ ポートヘボン参照	現在のオフィスパワー 随時 メールで調整 白金校舎教員ラウンジ 予約制（メール）

佐藤 成紀 ゼミナール

演習のテーマ 企業の会計システム	
Aゼミ／Bゼミの別 Aゼミ	採用予定人数 ポートヘボン参照
選考方法 面接試験および成績	採用条件 企業の会計システムについて関心があり、そうしたシステムから作られる会計情報にも興味をもって調査・分析する意欲があり、卒論へ向けて継続的な努力ができること。
留学先からの応募可否 不可	留学中の履修（遠隔指導）可否 不可
演習の内容 企業の会計システムに関するテーマを各自が選択し、毎回順番に報告していく。研究領域は、財務会計、管理会計、あるいは原価計算等の会計学分野であれば、まったく自由である。報告者は、事前に十分な資料調査を行い、演習でのディスカッションに備えることが要求される。報告者以外のゼミ生も、毎回、最低一回の質問をノルマとして課せられる。 3年次では、英文決算書を読む力をつけながら、資料の収集やプレゼンテーション、ディスカッションを経験しつつ、各自のテーマを模索する。 4年次では、卒業論文の執筆に専念する。毎回の個人報告は、卒論についての、各自の執筆段階での中間報告となり、それをめぐるゼミ生全員でのディスカッションを通じて、問題点を絞り込み、論文の内容を深めていく。 こうした2年間の演習を完遂するには、相当の忍耐力を要するが、その過程こそが、ゼミナールの醍醐味であったことを、いつの日か、懐かしく思い出すことになるであろう。	
公開ゼミ なし	現在のオフィスアワー

鳥居 宏史 ゼミナール

演習のテーマ 管理会計	
Aゼミ／Bゼミの別 Aゼミ	採用予定人数 ポートヘボン参照
選考方法 面接および書類選考	採用条件 1. 課外活動（アルバイト、サークルを含む）よりもゼミ活動を優先できること 2. 2年次終了時点で75単位以上の取得見込みがあること 3. 会計を勉強する意欲があること
留学先からの応募可否 可	留学中の履修（遠隔指導）可否 可
演習の内容 「楽しい時間を過ごしたい」が私のモットーです。そして、「自分の意見を述べよう」がゼミ運営上のポリシーです。 3年次ゼミは、管理会計の基本書にもとづいて、学生みずからによる報告と質疑応答形式で進められます。ピントが外れていても構いませんから、議論に積極的に参加する態度が大切です。ゼミ運営上のポリシーにのっとり、無発言の場合には罰金を課します（集めたお金は、モットーに従い、ゼミ生との楽しい時間を過ごすために利用されます）。なお、夏合宿では、夜更けまで一所懸命勉強するのが恒例です。4年次ゼミでは、各自が関心をもったテーマにしたがった卒業論文の制作がメインになります。 管理会計を学ぶ上で必要となる教養知識として工業簿記と原価計算は必須です。少なくとも日商簿記検定試験2級に合格することが要請されます（申し込み時点での合否は問いません）。1級、公認会計士試験などの資格試験合格を目指すゼミ生には、個別的な相談で対応します。 研究分野の性格から、現実の企業動向に興味があることが望ましいでしょう。モノづくりの本質やおカネの動きを実感するために、実際の工場見学やバーチャルな株式学習ゲームへの参加も予定しています（最近の例では、食品工場、自動車組立工場、航空機整備場の視察や証券取引所の見学をしました）。 ゼミの本質はもちろん勉強にありますが、仲間同士の親睦を図ることも重要な要素と考えています。学生企画によるフィールド・スタディ等の企画も大いに歓迎します。	
公開ゼミ なし	現在のオフィスアワー 金曜12：30～13：15個人研究室（本館8階865） 予約制（メール）

西村 三保子 ゼミナール

演習のテーマ 管理会計	
Aゼミ／Bゼミの別 Aゼミ	採用予定人数 ポートヘボン参照
選考方法 面接	採用条件 1. 自主性をもって積極的に議論に参加する意欲があること。 2. 2年次終了時点で70単位以上の取得見込みがあること。 3. 原則として毎回出席すること（他の活動による欠席は認めない）。
留学先からの応募可否 不可	認定留学計画中の学生受け入れ可否 不可
演習の内容 企業会計は、その企業に関する取引データを収集し、処理し、それらを情報として企業内外の情報利用者に伝達する役割を果たしています。管理会計目的に会計システムが提供する情報は、実績記録、注意喚起、および問題解決に分類できます。つまり、管理会計情報は、企業の経営管理者が経営管理のために活用する会計情報なのです。 本ゼミでは、テキストにもとづいて、管理会計の様々なトピックについて全員参加で議論していきます。また、9月に2泊3日の夏合宿、12月に他大学とのインゼミ（合同報告会）を行ないます。 3年次には、基礎知識の習得を目指してテキストを輪読するとともに、毎回、レジュメを作成し報告します。 4年次には、各自が興味を持ったテーマを選択し、自らが情報を収集して、報告・議論を行ない、卒業論文を執筆します。 報告者以外のゼミ生も議論に積極的に参加することが大切です。どんな意見でも大歓迎ですので、ゼミが明るく活発な意見交換の場になるよう、皆さんで協力しましょう。 2年間のゼミ活動を通じて、学問上の知識を増やすだけでなく、長い付き合いができるような大切な仲間と出会えるとしたら、こんなに素晴らしいことはありませんよね？	
公開ゼミ（日時、場所） なし	現在のオフィスアワー 随時 メールで調整 個人研究室（本館8階855）予約制（メール）

西山 由美 ゼミナール

演習のテーマ 「税のエキスパート」を目指す	
Aゼミ／Bゼミの別 Bゼミ	採用予定人数 ポートヘボン参照
選考方法 「自己アピール」と「2分間プレゼン」	採用条件 「税のエキスパート」とは、税理士や国税専門官のほか、民間企業やNPOでの税務セクションで活躍する人材も含まれます。税を通して社会の仕組みを知りたい、ビジネスのツールとして税をしっかり学びたいという意欲的な学生を歓迎します。
留学先からの応募可否 可	認定留学計画中の学生受け入れ可否 可
演習の内容 ビジネスに関連する租税（所得税・法人税・消費税・事業承継を念頭においた相続税）を中心に学びます。 【ゼミの進め方】 春休み中に予備ゼミを実施し、図書館スタッフによるサポート授業を通して、資料・文献収集のスキルを習得します。 春学期は、各人が興味を持つ税に関するトピックについて（たとえば、ふるさと納税、消費税率引き上げ問題など）プレゼンテーションを行い、それをレポートにまとめます。 夏休み中のゼミ合宿では、秋学期の統一テーマである「地方再生と税」の予習をします。 秋学期は、地方再生と税について、各人がトピックを選んでプレゼンテーションを行い、それをレポートにまとめます。 【注意事項】 ゼミは3年生・4年生合同で行います。木曜3時限が「本ゼミ」、同4時限が「サブゼミ」です。両時限とも出席できるようにしてください。また、税法の基礎知識を要しますので、木曜2時限の「ビジネスのための税法」を履修してください。	
公開ゼミ（日時、場所） ポートヘボン参照	現在のオフィスアワー 随時 メールで調整 個人研究室（本館8階859）予約制（メール）

林 祥平 ゼミナール

演習のテーマ 経営組織論、組織行動論	
Aゼミ／Bゼミの別 Aゼミ	採用予定人数 ポートヘボン参照
選考方法 「志望理由」と「自分の強み」をそれぞれA4用紙1枚にまとめて教務に提出してください。書類と面接で選考を行います。	採用条件 主体性と協調性を重視します。ゼミ活動に積極的に取り組み、ゼミの繋がりを大事にしてくれる学生を募集します。また経営組織論1の単位を取得していることを応募条件とします。
留学先からの応募可否 可	認定留学計画中の学生受け入れ可否 不可
演習の内容 本ゼミナールでは、組織・集団・人について学びます。組織も集団も人の集まりであるため、突き詰めれば本ゼミの関心は人そのものです。組織における人について心理学的アプローチから学び、深く考える目を養います。例えば、「どうして安い給料でもイキイキ働ける人がいるんだろう」「緊張感があつた方が頑張れるのはどうしてだろう」といった身近な疑問に目を向け、自分なりの答えを導き出し、説得力のある説明ができるようになることを目指します。 3年次は、テキストの輪読とグループワークに取り組みます。テキストには、組織内の個人心理や集団心理を扱った本を使い、広く基礎知識を身に付けていきます。また各回のテーマに沿ってディスカッションをし、考える癖をつけていきます。グループワークは3-4人で組んでもらい、グループで決めたテーマについて学生が調べ発表し、議論します。4年次には、3年次の経験を活かして、各学生が興味のあるテーマを選び、卒業論文に取り組んでもらいます。(※2017年度のグループワークのテーマとしては「先延ばししないモチベーションの高め方」「本音を言える人間関係の構築に向けて」などがありました) ゼミ合宿、社会人を招いた座談会、他大学との交流など学生の意見を積極的に取り入れながらゼミ活動を行っていきます。本ゼミが学生にとってより良いコミュニティになるよう、ゼミ作りに加わってくれる学生の参加を期待しています。 なお、「教員によるゼミ説明会」で具体的にゼミ生にどのようなことを求めるのかをお伝えするので、ぜひご参加ください。	
公開ゼミ（日時、場所） ポートヘボン参照	現在のオフィスパワー 木曜11：30～13：00 個人研究室（ヘボン館8階808）または白金教員ラウンジ 予約制（メール）

森田 正隆 ゼミナール

演習のテーマ 情報技術とマーケティング戦略	
Aゼミ／Bゼミの別 Bゼミ	採用予定人数 ポートヘボン参照
選考方法 書類選考および面接	採用条件 マーケティングと情報技術の双方に関心を持ち、ゼミ活動に積極的かつ能動的に毎回参加できるとともに、他のゼミ生と建設的で創造的な議論をしたいと考えている方。
留学先からの応募可否 不可	留学中の履修（遠隔指導）可否 不可
演習の内容 本ゼミナールは、「情報技術とマーケティング戦略」の関係について考察し理解を深めていくことによって、これからの情報社会を自分の目で分析し行動していけるだけの知的能力と価値観を養うことを目的としています。 輸送や通信の分野における技術革新は、社会体制はもちろん、生産と消費の両面に対しても創造的破壊をもたらし、次代の扉を開く強力なパワーを秘めています。そこで、本ゼミナールでは、情報技術とマーケティングの関係について、過去の歴史や理論から学ぶとともに、現在世の中で起こっているさまざまな経済事象や経営問題を取り上げ、それらを理論的かつ経験的に考察し分析するという作業を繰り返しおこなっていきます。 本ゼミナールに参加する学生には、情報技術およびマーケティングの両面に関して旺盛な好奇心と探究心を持つことが求められます。ケースディスカッション、ロールプレイング、ショートスピーチなどの体験型・参加型の授業を数多くおこないます。また、並行してグループ研究などの自主活動を課し、年末には研究成果発表会をおこないます。なお、正規の授業時間にさらに1コマ加えて、毎週2コマの連続授業をおこないます。自主的なグループ研究活動も含めてゼミのために割いていただく時間がかなり多くなります。それらのことを納得できる方のみご応募ください。	
公開ゼミ なし	現在のオフィスアワー 月曜12：30～13：15個人研究室（本館8階866） 自由に訪問可（メール予約が望ましい）

渥美 利弘 ゼミナール

演習のテーマ 国際貿易	
Aゼミ／Bゼミの別 A	採用予定人数 ポートヘボン参照
選考方法 筆記試験	採用条件 自らテーマを見つけ、卒業研究をやり遂げようという意欲のある人
留学先からの応募可否 可	認定留学計画中の学生受け入れ可否 可
演習の内容 毎回各自の研究テーマに関連した発表をしてもらい、それをもとに全員で議論します。(3年春学期は共通の教材で国際貿易について学びます。3年秋以降は各自国際貿易に関する卒業研究をします。) 選んだテーマに最後まで取り組むことで、一つのことを深く考え、それを他の人に説明し、きちんとした文章にするという経験をゼミで積んでいただきたいと思います。 私の関心分野や最近の研究について、詳しくは下記を参照してください。 http://gyoseki.meijigakuin.ac.jp/mguhp/KgApp	
公開ゼミ (日時、場所) なし	現在のオフィスアワー 火曜12:30～13:20個人研究室 (ヘボン館9階902) 予約制 (メール)

井川 ジェニファー セミナール

演習のテーマ Leadership in Literature	
Aゼミ／Bゼミの別 Aゼミ	採用予定人数 ポートヘボン参照
選考方法 ・ Interview ・ Students will be provided with questionnaire and a short text to read in advance.	採用条件 Students should like to read, have an adequate level of English skills (reading, writing, speaking, and listening) , and be interested in the concept of Leadership.
留学先からの応募可否 可	認定留学計画中の学生受け入れ可否 可
演習の内容 This seminar will examine the concept of Leadership. We will read and discuss fiction and non-fiction texts to help us identify what the characteristics of a good leader are, why some leaders succeed and some fail. Students will be expected to read extensively in English to prepare for class. During class, students will be expected to participate actively. As students will also be expected to write summary and response papers, there will also be instruction in writing.	
公開ゼミ（日時、場所） なし	現在のオフィスアワー

生方 雅人 ゼミナール

演習のテーマ ファイナンス理論と実証分析	
Aゼミ／Bゼミの別 Aゼミ	採用予定人数 ポートヘボン参照
選考方法 面接、成績	採用条件 ファイナンスの分野に関心をもち、意欲的に勉強できる学生
留学先からの応募可否 可	認定留学計画中の学生受け入れ可否 可
演習の内容 コーポレート・ファイナンスやインベストメントに関連する知識を一通り学ぶとともに、各自興味をもったトピックスの分析とプレゼンテーションによる発表を通して、ファイナンスの理解を目指していきます。コーポレート・ファイナンスでは企業がビジネスをおこなう上で必要な資金をどのように調達したら良いのか、資金をどの事業（実物資産）に投資したらよいか、株主にどれくらい利益を還元するかといった意思決定の方法を考えます。インベストメントは株式や債券、デリバティブといった金融商品の価格がどのように決まるのかといった点や、金融商品への投資運用を考えます。ファイナンス研究では、例えば、あるイベントが与える影響に関する分析、リスクの計測とリスクマネジメント、企業の合併と買収に関する調査、企業の統治方法に関する考察、デリバティブや為替市場の分析、高頻度金融データの分析、マーケット・マイクロストラクチャーに関する分析など様々な問題意識から研究が進められています。 3年次では輪読、議論、プレゼンテーションを中心におこないます。そのため、教科書を事前に読み、輪読や議論に参加する準備をしておくことや、プレゼンテーションによる解説や報告、議論に対して自発的に発言できる心構えを持つておくことが望まれます。また、金融データや資料を活用して情報を収集し、情報をまとめ上げる力を向上させるために、様々な角度からファイナンスに関する調査・分析にトライしプレゼンをおこなってもらいます。欠席はゼミ全体のモチベーションを著しく低下させるので、正当な理由のない欠席に対しては厳正に対処します。4年次では各自興味のあるトピックスを掘り下げた研究をおこない、進捗状況や完成時のプレゼンと、論文やレポートを執筆することを予定としています。	
公開ゼミ（日時、場所） なし	現在のオフィスアワー 木曜12：30～13：20個人研究室（本館8階852） 自由に訪問可

神田 良 ゼミナール

演習のテーマ 日本企業の戦略行動（特にリスクマネジメント戦略と長期存続企業の経営戦略）	
Aゼミ／Bゼミの別 Aゼミ	採用予定人数 ポートヘボン参照
選考方法 レポートと面接	採用条件 面接とレポート （テーマ『ゼミに入って何を勉強したいか』 ：教務課で書式を配布）
留学先からの応募可否 可	認定留学計画中の学生受け入れ可否 可
演習の内容 2年の予備ゼミでは、経営学の基本的な知識、会議の進め方、問題解決法、発想法を学びます。 3年になると、まずは理論書を数冊読みます。その次に、テーマに沿って実際に企業や産業に関する資料・データを収集、分析します。こうして、日本企業・産業の事例分析を通じて、日本企業の経営戦略の新しい動きに関して仮説を定立します。この研究は、学外のゼミと一緒にを行う発表会で発表して、論文にします。一連のこうした研究を通して、自分でテーマを決め、理論書を読み、事実データを収集・分析して自分なりの理論を構築するといった手順を学びます。 4年では、こうして獲得した研究ノウハウを活用して、自分で決めた研究テーマに沿って卒業論文を仕上げます。	
公開ゼミ（日時、場所） なし	現在のオフィスアワー 月曜12：30～13：30個人研究室（本館8階856） 予約制（メール）

小滝 秀明 ゼミナール

演習のテーマ 国際商取引論と実践的ビジネススキル	
Aゼミ／Bゼミの別 Bゼミ	採用予定人数 ポートヘボン参照
選考方法 面接	採用条件 以下のいずれかが該当するのが望ましいが 必須ではなく、熱意さえあれば歓迎します。 ・海外と関わるキャリアを希望している ・貿易、経営、英語、起業に興味がある ・ビジネス最前線・就活で使うスキルを学びたい
留学先からの応募可否 可	認定留学計画中の学生受け入れ可否 可
演習の内容 【授業の狙い】 国際的な取引における豊富な事例をもとに、全員が当事者の立場で議論し、世界で通用するビジネスのセンスとスキルを身に付けます。 様々なテーマでのロールプレイや会議、プレゼン、ディベートを通して、自然に司会・発言・質疑・問題解決などを体験できます。また、卒業生のゲストも招いて多業種の事例を通して幅広く学びます。 ビジネスプランに関連するプロセスや発表・交渉センスを身に付けることができるので、いつ国際取引の舞台にでても通用するビジネスのセンスを育て、各種の一流のスキルをも修得します。	
【本ゼミの決意】 毎回の授業では、自らが考え、体験・披露することに重点を置くので、全員がアウトプットして刺激し合い、各自の実力を引き出し、伸ばしてみせます。皆さんは「一年でこれだけ成長できた」と驚き、今までにない自信を持てるはず。本ゼミ第3期生として、ともに学び成長しましょう。	
【小滝秀明：1981年明治学院大学卒業、商社勤務、ロンドン在住17年、現在 レアメタル商社社長】	
公開ゼミ（日時、場所） ポートヘボン参照	現在のオフィスアワー

タット・リドー ゼミナール

演習のテーマ Development Economics	
Aゼミ／Bゼミの別 Aゼミ	採用予定人数 ポートヘボン参照
選考方法 Interview in English	採用条件 Students who wish to participate in the seminar should have an interest in the economic situation of developing countries. In addition, introductory level of macro and micro economics is required.
留学先からの応募可否 Students who are in the study abroad program can also apply.	認定留学計画中の学生受け入れ可否 Students who are in the study abroad program can also apply.
演習の内容 This seminar course focus on international and development economics, i. e. the economic issues in developing countries. The topics include theories of economic development, poverty and inequality, population growth and urbanization, migration, environment, trade, balance of payment, foreign direct investment (FDI) and official development assistance (ODA). In the seminar, students will need to actively participate in the discussion and make a presentation. The seminar will enable students to understand various development issues in developing counties and to be able to comprehend the differences between developing and developed countries, particularly between developing countries and Japan. This course is helpful for students who plan to work in other countries (in Japanese companies), especially in developing countries.	
公開ゼミ（日時、場所） ポートヘボン参照	現在のオフィスアワー 月曜12：30～13：20白金校舎教員ラウンジ 予約制（メール）

西原 博之 ゼミナール

演習のテーマ 国際経営論、異文化マネジメント、グローバル人材、中国、台湾などの華人経済圏における企業の経営	
Aゼミ／Bゼミの別 Aゼミ	採用予定人数 ポートヘボン参照
選考方法 書類選考、面接 選考にあたっては、ゼミ申込書に加え「研究計画書」をA4サイズ用紙数枚、表紙を付けずに、①テーマ、②研究背景、③研究方法、④主要参考文献を記載して提出すること。	採用条件 当該教員による「海外フィールドスタディ（台湾）」、「海外インターンシップ」の実習科目を履修する学生を優先する。周知の通り、Aゼミであることから、卒業論文を作成、提出することが採用の条件である。ゼミを止む負えなく欠席する場合は事前連絡をすること。また、それができない場合は事後報告を怠らないこと。
留学先からの応募可否 可	認定留学計画中の学生受け入れ可否 可
演習の内容 同演習の研究対象は、「国際経営」、「異文化マネジメント」、あるいは、国際人材、グローバル人材の育成などに関する研究、また、中国、台湾などの華人経済圏における企業の経営である。演習の目的は、国際経営に係わる知識を身につけて理解を深めると同時に、演習活動を通して、1) 情報機器を用いたプレゼンテーション方法の学習、2) 共同作業を通してプロジェクト管理する能力の養成、3) ケース・スタディや実証研究を通して理論的な考察や分析能力の向上を図ることである。したがって、同演習は、第一に、国際経営に関する基本的な文献を輪読する。その際、少人数のグループごとにレジюмеを作成してプレゼンテーションを行い、国際経営に関する基礎知識を養う。 第二は、国際経営に関するケース・スタディを用いて討論を行う。その際、各グループが事前に関連の課題を準備し、演習時間はグループ間の質疑応答という形式で演習を進めていく。なお、実証研究の方法論などについても触れていきたい。 第三は、卒業論文の執筆方法に関する解説と同時に、卒業論文のテーマの設定、枠組づくり、関連文献の収集及びまとめ、事例研究などにより研究課題を検証していく。具体的な演習活動は、個々のテーマに関して、1) タイトル及び研究計画の報告、2) 中間報告、3) 調査研究に関するプレゼンテーションを行い、担当教員の許可を得た上で卒業論文を提出することになる。また、卒業論文については、ゼミとしてまとめ、最終年度に開催される経済学部卒業論文発表会に参加してその成果報告を行う。	
公開ゼミ（日時、場所） なし	現在のオフィスアワー 木曜3限 個人研究室（ヘボン館9階904） 予約制（メール）

広瀬 要輔 ゼミナール

演習のテーマ データ分析・計量経済学	
Aゼミ／Bゼミの別 Aゼミ	採用予定人数 ポートヘボン参照
選考方法 面接	採用条件 面接により採用・不採用を決定します。学業成績、積極性、協調性などを総合的に評価して判断します。
留学先からの応募可否 可	認定留学計画中の学生受け入れ可否 可
演習の内容 経済・経営の分野では様々なデータを入手することができます。これらのデータを分析することで経済・経営を理解していきます。 演習では3年次にデータ分析に関する知識と分析ソフトの操作方法を習得することを目標にします。具体的には計量経済学に関する入門書を参加者で読み進め、分析ソフトを動かしていくことにより実際の分析方法を身につけていきます。続いて興味のある論文を選び、その論文はどのような分析方法を用いているのか、その分析により何が明らかになったのかなどを理解していきます。時間があれば、実際のデータを用いてその論文と同様の分析をおこないまとめます。4年次では各自で自由に設定したテーマにそって分析を行い、卒業論文の完成を目指します。	
公開ゼミ（日時、場所） なし	現在のオフィスアワー 金曜昼休み 個人研究室（ヘボン館5階516） 予約制（メール）

藤田 晶子 ゼミナール

演習のテーマ 企業の経営戦略と財務情報—事例研究—	
Aゼミ／Bゼミの別 A	採用予定人数 ポートヘボン参照
選考方法 面接	採用条件 真面目かつ積極的にゼミ活動に取り組むこと
留学先からの応募可否 可	認定留学計画中の学生受け入れ可否 可
演習の内容 国際的な財務報告制度を理解したうえで、グローバル企業の経営戦略と財務情報との関係を企業間および時系列で分析し、さまざまな会計処理方法の意義を検討する。 ① 財務報告制度の国際比較 — EU・米国・日本— ② 企業の経営戦略と会計処理方法との関係 —のれん・R & D・在庫・収益認識など— ③ 企業の業績と財務情報（会計処理方法）の国際比較 ④ 財務情報と株価 ⑤ その他	
公開ゼミ（日時、場所） なし	現在のオフィスアワー

松園 保則 ゼミナール

演習のテーマ Public Speaking	
Aゼミ／Bゼミの別 Aゼミ	採用予定人数 ポートヘボン参照
選考方法 1. Interview in English 2. Essay Writing in English	採用条件 Students must interact with their classmates and professor in English at all times. Students should have adequate English speaking and writing skills. The seminar would suit students with English language levels comparable to IELTS exam score 5.5-6.0, TOEFL iBT exam score 70-80, or TOEFL ITP exam score 520-550.
留学先からの応募可否 可	認定留学計画中の学生受け入れ可否 可
演習の内容 <p>This seminar course focuses on public speaking of all kinds.</p> <p>In the first semester, students learn about the basic principles of public speaking and explore possible ways to engage as a great speaker in public. In the second semester, students examine case studies regarding public speaking in order to further explore great ways to engage as a confident and professional speaker in public.</p> <p>During these semesters, students develop oral communication skills through group discussion and public speaking. In addition, in preparation for writing a thesis in English in their final year, students write multiple-draft essays that have these supported by logical arguments and incorporate information from texts.</p>	
公開ゼミ（日時、場所） なし	現在のオフィスアワー 火曜昼休み 横浜校舎教員ラウンジ 予約制（メール） 金曜4限 個人研究室（ヘボン館7階716）予約制（メール）

山田 純平 ゼミナール

演習のテーマ 企業会計	
Aゼミ／Bゼミの別 Aゼミ	採用予定人数 ポートヘボン参照
選考方法 面接	採用条件 原則として、毎回授業に出席し、ゼミの行事（夏合宿・研究報告会）にも参加できることが採用条件です。 その他に、企業会計を学ぶ意欲が高く、他の学生との交流を深めたいという方が望ましいです。現時点での会計の知識の有無は問いません。
留学先からの応募可否 可	認定留学計画中の学生受け入れ可否 可
演習の内容 初心者でも参加できるように、企業会計の基礎から始めたいと思います。 まずは決算書の分析について説明した本を読んだ後、各自が実際の決算書を分析し、その結果を報告していただきます。その後、企業会計のルール全般を学べる教科書を題材として、問題点を議論する予定です。 その他に、他大学との研究報告会で報告をしてもらうので、その準備を行います。 最後に、これらの勉強の総仕上げとして、卒業論文を執筆することになります。	
公開ゼミ（日時、場所） ポートヘボン参照	現在のオフィスアワー 火曜12：30～13：20個人研究室（ヘボン館9階917） 予約制（メール）

発 行 日：2018年9月29日

編集責任者：中野 聡子

編 集：明治学院大学 経済学部

：〒108-8636

：東京都港区白金台1-2-37

印刷・製本：ヨシダ印刷株式会社